研修内容

研修参加者は、申請時に提出されたプロジェクト計画書にしたがって、個別指導を受けながら、課題解決に向けて活動を進めていきます。帰国後にプロジェクトの進捗のレポートを提出することが求められます。さらに、最終的には、教材、カリキュラム、研究論文等として公表、出版することが期待されます。

採用実績

採用プロジェクト２件／応募プロジェクト９件（平成29年度）

選考方針

(1) 全プログラム共通の選考方針はp. ４をご覧ください。

(2) 申請プロジェクトの実現可能性及び当該国・地域への日本語教育の発展・課題解決への貢献度、候補者のプロジェクトの遂行能力、当該国・地域での日本語教師研修の必要性、申請機関が「JFにほんごネットワーク（さくらネットワーク）」の認定機関であるか等の観点から審査します。

申請締切

2017年12月１日（必着）

結果通知

2018年４月下旬

備　　考

本研修はプロジェクトを自律的に推進できる方が対象となっています。プロジェクト立案や遂行のための知識が不足していると思われる場合は、まず「テーマ別研修」や「短期研修」に参加することをお勧めします。

4　日本語教育指導者養成プログラム（修士課程）

申請書略号：NC-GP
担当：日本語国際センター教師研修チーム

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師又は日本語教授経験を有する行政官を対象に、１年間で日本語教育の修士課程を修了するもので、将来、各国・地域の日本語教育界において指導的立場に立つ人材の養成を目的としています。このプログラムは、国際交流基金日本語国際センターと政策研究大学院大学が連携して実施しており、高度で実践的なカリキュラムが組まれています。

申請資格

個人申請ですが、所属機関長の推薦書等が必要です。申請者は、次に掲げる要件を全て満たしている必要があります。

(1) 海外の日本語教育関係機関や教育省等の行政機関に属している日本語教師、又は日本語教授歴を持つ行政官で、所属機関長の申請許可を得ることができること。

(2) 学士号又はそれに相当する資格を有すること。

(3) 日本と国交のある国の国籍を有すること。※台湾の方も申請可能です。

(4) 日本の義務教育（小学校・中学校９年間）を修了していないこと。

(5) 2018年４月１日時点で、満45歳未満であること。

(6) 2017年12月１日時点で、２年以上の日本語教授歴を持つこと（個人指導及びアシスタント・ティーチャーの期間は除きます）。

(7) 日本語能力試験N1又は旧日本語能力試験１級程度、あるいはそれ以上の日本語運用力を持っていること。

(8) 2017年10月から2018年９月までに、国際交流基金や日本の大学等において50日間以上の日本語教師研修（「海外日本語教師短期研修」を含む）を受講していないこと（受講予定を含む）。

(9) 帰国後も、国・地域の日本語教育への貢献が期待されること。

研修場所

国際交流基金日本語国際センター（埼玉県さいたま市）※一部の授業は政策研究大学院大学で行います。

実施期間

2018年９月～2019年９月

支給内容

⑴　宿舎、研修期間中の食事、研究・活動費及び講義に関わる費用、研修期間中の疾病及び傷害に対する保険等

⑵　往復航空券（エコノミークラス割引運賃、居住地最寄り国際空港発着）及び出国税・空港利用税、研修補助費

※研修参加に際して、家族同伴で来日することはできません。

カリキュラム概要

申請要領及び政策研究大学院大学ウェブサイトをご覧ください。

http://www3.grips.ac.jp/~jlc/mas/curriculum.html

取得学位

修士（日本語教育）

・日本語国際センターと政策研究大学院大学の２機関により学位を授与します。

採用実績（参考）

採用３名／応募３名（平成29年度）

選考方針

⑴　全プログラム共通の選考方針はp. ４をご覧ください。

⑵　以下のような観点から審査します。

　ア　当該国・地域での指導的日本語教師研修の必要性

　イ　申請者の当該国・地域の日本語教育界におけるポジション、将来の影響力

　ウ　申請者の日本語運用力、特に修士課程を修めるのに十分な課題研究の遂行能力等

⑶　以下のような場合は、優先順位が高くなります。

　ア　自国・地域の高等教育機関（大学等）において、日本語教育の修士の学位を取得することが困難な国・地域からの申請者

　イ　自国・地域の日本語教育の発展に寄与する課題を研究する予定の申請者

申請締切

2017年12月１日（必着）

結果通知

2018年４月下旬

備　　考

申請書による書類審査の後、第二次審査として、筆記及び口頭試験を実施し、２機関で構成される委員会が合格者を決定します（第二次審査日程、会場は未定）。